

Press Release

2026年5月25日

フリービット株式会社

フリービット、世界で急拡大する Age Tech*¹市場に本格参入。
27年間にわたる特許取得独自技術群*²を「TONE-IN SDK*³」としてパッケージ化し、
AI サービス連携も可能な統合型 Age Tech として多領域での事業展開を開始。

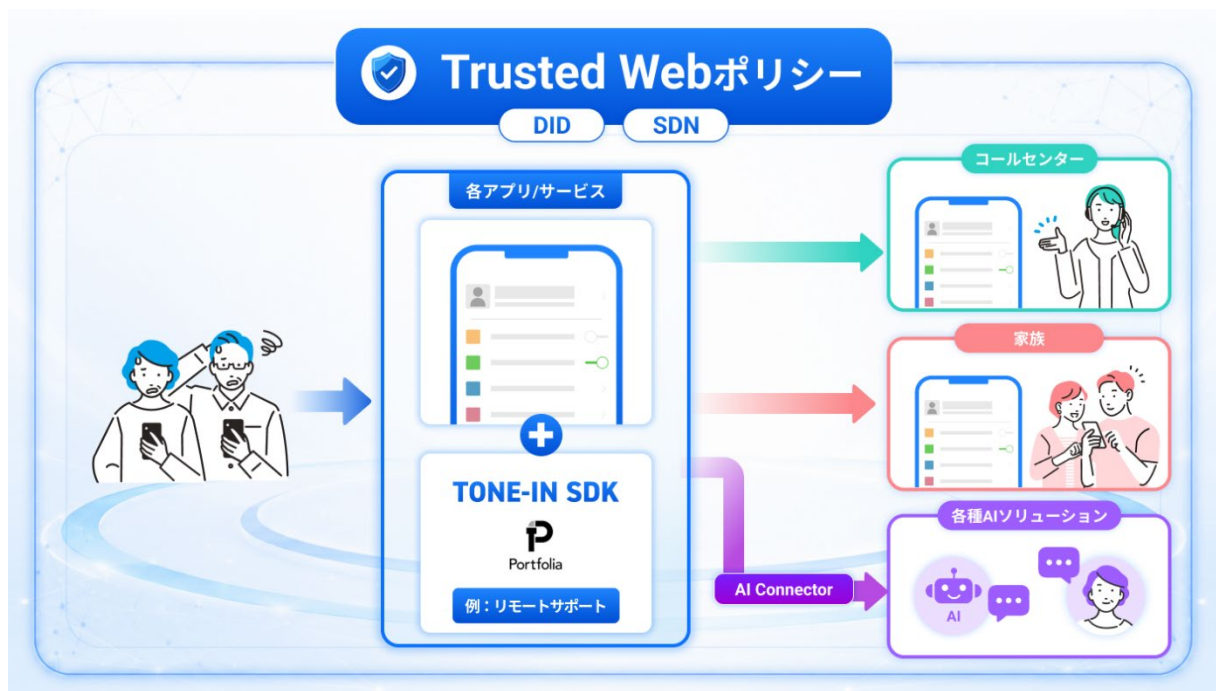
～「TONE IN」の安全・安心戦略が、第3章へ～

ヘルスケア・通信サービス・エンタメほかあらゆる分野の
Age Tech 領域が直面するシニアのスマホ利用サポート課題にアプローチ可能

国内のスマホを持つシニア3,000万人のうち、72.4%(約2,170万人)がスマホ利用での困りごとを経験している*⁴。誰かに頼る?諦めるしかない?—そんな壁を超え、特許取得済の独自技術で、分散ID(DID/VC、W3C標準)とAIサービスへの接続コネクタを統合し、事業者が「個人情報を取得しない*⁵」非中央集権型SDKが、ヘルスケア・通信・エンタメなどのあらゆる分野で、シニアのスマホ利用をサポートする。TONE IN、第3章スタート。

フリービット株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO 兼 CTO:石田宏樹、以下「フリービット」)は、急拡大する Age Tech(加齢・ライフステージに関わるテクノロジー領域)市場*¹への本格参入として、当社が27年間にわたり蓄積してきた特許取得独自技術群*²を、2025年7月に発表した非中央集権型プラットフォーム「Portfolia(ポートフォリア)」の Age Tech 領域向け応用展開として再パッケージ化し、「Trusted」Age Tech を実現する統合型 SDK「TONE-IN SDK」*³として多領域での事業展開を開始することをお知らせいたします。

「TONE-IN SDK」が変えること — 事業者とシニアユーザーへのそれぞれの価値



フリービット株式会社

〒150-0044 東京都渋谷区円山町3番6号 E・スペースタワー

Voice 03-5459-0522 FAX 03-5459-0523 <https://freebit.com/>

Press Release

事業者様のメリット: 「TONE-IN SDK」ライブラリをアプリに組み込むだけで、シニアユーザーへの統合サポートを実装。コールセンター・家族・AIソリューションなど複数のサポート先を組み合わせ、既存システムへの改修を最小限に抑えながら、画面を瞬時にセキュアにシェアできるため、シニア対応コストを大幅に削減することが可能です。

ユーザー様のメリット: 新規インストールをしたアプリから使い慣れたアプリまで、困ったときにすぐ助けを呼ぶことができます。サポートセンターだけでなく、離れた家族に助けを求めることも可能。どのサポート経路を使っても、Trusted Web ポリシー(DID/SDN)による一貫したセキュリティで、ユーザーが事業者に個人情報渡さず安心して利用できます。

1. 発表要旨

本 SDK は、フリービットが 2025 年 7 月に発表した非中央集権型プラットフォーム「Portfolia」を、Age Tech 領域に最適化して応用展開する統合プラットフォームです。「Portfolia」を構成する DID ウォレット(W3C 準拠)、モバイルブロックチェーン「Trusta」(完全 EVM1.X 互換)、SDN 技術「Emotion Link」、そして Edge AI を含む各種 AI サービスとの連携を行う「AI Connector」を、シニア向けアプリケーション開発者がライブラリとして組み込み可能な形で再パッケージ化することで、日本政府が進める「Trusted Web」や、マイナンバー等に基づいた実装方針に準拠した形で、アプリ/サービス事業者が、シニアユーザーへ「安心して使えるスマホ体験」を提供することが可能になります。

フリービットでは、トーンモバイルが約 13 年に渡って磨き上げてきた安全・安心のテクノロジーを、「TONE IN」戦略として 3 年前より外部提供し、当領域のパートナーの方々と PoC を行ってまいりました。その成果として、本 SDK を、2026 年 5 月以降、まずはグループの MVNO サービスであるトーンモバイルへ投入(既存サービスのアップデート)し、その後は中期経営計画 SiLK VISION2027 における「通信生まれの web3 実装企業へ」という戦略に基づき、通信サービス領域・ヘルスケア領域・エンタメ領域などの分野へ、「TONE IN」による安心・安全戦略の第 3 章として展開してまいります。

2. Age Tech 市場と日本シニアのアプリ利用課題

2.1 急速に拡大する世界 Age Tech 市場。"Trusted" Age Tech 先進国を目指して――

Age Tech は、世界市場規模が約 2 兆ドルと試算される成長市場であり、AARP をはじめとする国際業界団体*1 が市場形成を主導しています。日本は世界で最も高齢化が進行する国(高齢化率 29.3%、内閣府 令和 7 年版高齢社会白書)であり、本領域における世界先行国としての位置にあります。

Press Release

2.2 シニアスマホ世代の実需 —— アプリ利用の困りごと 2,170 万人

日本における 65 歳以上のスマートフォン保有者は約 3,000 万人に達し、80 代前半でも所有率 68% に上ります*6。一方、これらシニアスマホ世代のうち 72.4%(約 2,170 万人)がアプリ利用で困りごとを経験し、53.5%(約 1,160 万人)が他者サポートを実際に利用している実需が確認されています*4。また、2026 年 3 月の 3G 停波により、約 300 万人のシニアがガラケーからスマートフォンへの移行を迫られており、アプリ利用支援への即時的な需要が急拡大しています。シニアのサポート単価は一般顧客と比べて対応時間等が長くなる傾向があり、今後もサービス・アプリ事業者にとって無視できないコスト要因となることが見込まれます。

3. TONE-IN SDK —— 提供内容

「TONE-IN SDK」は、事業者やサービス提供者が、アプリライブラリに組み込むだけで、事業者側の自社システムへの変更を最小限に、シニアユーザーへの統合サポート機能を実装することが可能になるプラットフォームです。本 SDK の認証層・通信層は、フリービットが 2025 年 7 月に発表した分散 ID 基盤「Portfolia」を中核技術として採用しており、AI 実装層を加え、統合した 3 層構造となっています。

① 認証層:

Portfolia「DID ウォレット」(W3C 標準の Verifiable Credential)とパートナー既存システムをシームレスに繋ぎこみます。フリービットでは、ユーザーから個人情報を取得せず*5、暗号学的な本人認証を実現します。発行された各種 VC は利用者のスマートフォン上に保存され、外部サービスはユーザーの明確な許諾なしには情報を取得できません。

② 通信層:

Portfolia「Emotion Link」(特許取得済の独自 SDN 技術)により、アプリ自体が IP アドレスを保有。実在するネットワークの各種セキュリティポリシーに依存せず、Edge to Edge での P2P 通信を実現するフリービット独自の技術です。加えて、Portfolia「Trusta」によって現在実稼働中の TONE Chain (モバイル EVM1.X 互換 L1 ブロックチェーン)により、ビジネスロジックゾーン (事業者運用) まで含んで Trust 化することで、発行主体の事業継続性に依存しない VC の長期検証性を担保しています。

③ AI 支援層:

各種 AI(エージェント)サービスへ接続するコネクタを提供。各社が有する AI サービスや、LLM などとシームレスな繋ぎこみを実現し、そのやり取りにおいても Trust を担保します。

Press Release

4. TONE IN の進化 —— 第 3 章としての SDK 化

「TONE-IN SDK」は、2013 年以降培ってきた「安心・安全なスマートフォンサービス」（子供・現役世代・シニアの 3 世代を支える設計思想）の事業進化形です。「TONE IN」は、これまで段階的に、対象範囲を拡大してきました。

2013 年 11 月 —— freebit mobile ～トーンモバイル

独自開発を含む垂直統合型スマホサービスを日本で初めて実現。

子供、シニア、現役世代における安全安心を徹底的に追求。東京都やこども会などの各種認定を獲得。ドコモの「エコノミーMVNO」としてドコモショップ約 2,000 店舗で発売中。

2024 年 3 月 —— TONE IN (第 1 章)

MVNO SIM 挿入型として、ドコモ取扱いの全 Android/iPhone 端末で動作可能に。

2024 年 8 月 —— TONE IN (第 2 章)

SIM フリーやドコモ以外キャリアの端末等、200 機種以上に対応（IoT を含めた展開を予告）。

2026 年 5 月 —— TONE-IN SDK (第 3 章)

SDK としてあらゆるスマホアプリへ組み込みが可能に。

事業者が個別のアプリ単位で TONE のサポート機能を導入できる。

第 3 章への進化により、これまでの freebit mobile～トーンモバイルを通じた自社サービスと、提携端末(約 200 機種)に限られていた「安心・安全のレイヤー」が、業種・端末・キャリアを問わずあらゆるアプリで提供可能となります。

5. 今後の展開 —— SV2027「通信生まれの web3 実装企業」への接続～次期中期 SV2030 ～

「TONE-IN SDK」は、当社の中期経営計画 SiLK VISION 2027 (SV2027)「通信生まれの web3 実装企業」を具体化する事業実装です。2025 年 1 月に締結したソフトバンク株式会社との資本業務提携、2025 年 7 月に発表した非中央集権型プラットフォーム「Portfolia」の社会実装本格化に続く、SV2027 の中核事業として位置付けられます。「Portfolia」は既にフリービットグループ各社で実装が進行しており、本 SDK 事業化を含むこれら一連の展開は、SV2027 の最終年における「web3 実装企業」としての本格稼働を象徴するものとなります。

フリービットは、「TONE-IN SDK」事業を起点として、“Trusted” Age Tech 領域における事業展開で、日本発の世界先行モデル確立を目指します。日本の少子高齢化先行性によるノウハウを活かし、高齢化が進むアジア各国ならびに今後高齢化率が高まる欧州・米国へのグローバル展開を、次期中期計画 SV2030 のフォーカステーマとして掲げてまいります。また、“Trusted” Age Tech 事業は「TONE-IN SDK」に留まりません。グループ会社である株式会社ギガプライズが運営する 143 万戸の集合住宅向けインターネット回線インフラを活用した次世代見守り事業（2025 年 10 月施行の改正住宅セーフティネット法「居住サポート住宅」制度に対応した高齢者見守りサービス）など、複数の事業を順次展開していく構想です。

フリービット株式会社

〒150-0044 東京都渋谷区円山町 3 番 6 号 E・スペースタワー

Voice 03-5459-0522 FAX 03-5459-0523 <https://freebit.com/>

Press Release

Portfolia のグループ各社における社会実装

- **フリービット/DTI/トーンモバイル**：すべてのステークホルダー（顧客、株主、従業員）向けプロダクト群への Portfolia 実装を進行中。「TONE-IN SDK」もその一環として位置付け、非中央集権型のセキュリティ・アイデンティティ管理を実現。
- **ギガプライズ**：Portfolia に内蔵した専用アプリ等によって、固定通信とモバイル通信の連携を可能にする次世代認証基盤/個人情報保護基盤/インセンティブ提供基盤の構築を準備中。
- **フルスピード/フォーイット**：Portfolia ベースの広告配信基盤構築の実証準備を進行中。利用者の個人情報保護を異次元に高めた形での One2One マーケティングの実現を目指します。
- **クライド**：ファンコミュニティアプリ「StandAlone」のコアとして Portfolia を実装し、真の web3 ファンエコノミーの基盤としての運用実証を開始。

注釈

*1 Age Tech:加齢・ライフステージに関わる技術領域全般。AARP(米国最大の高齢者団体)、IEEE(IEEE AgeTech Initiative 設立)、CTA(米コンシューマーテクノロジー協会)等が市場形成を主導。出典:AARP AgeTech Collaborative 『AgeTech market slated to double from \$1 to \$2 trillion』

(<https://www.aarp.org/pri/topics/technology/internet-media-devices/aarp-research-insights-technology/>)

*2 特許取得独自技術群:アプリ自体が IP アドレスを保有する SDN 技術「Emotion Link」(2008 年特許取得)、およびモバイル EVM1.X 互換 L1 ブロックチェーン「Trusta」(2024 年特許取得)を含む、フリービット独自の通信・認証基盤に関する複数の特許を取得済。これらは 2025 年 7 月に発表した分散 ID 基盤「Portfolia」の中核構成技術である。

*3 TONE-IN SDK:2024 年 3 月発表「TONE IN」(第 1 章、MVNO SIM 挿入型でドコモ取扱い Android/iPhone 端末に対応)および 2024 年 8 月発表「TONE IN」(第 2 章、SIM フリー含む 200 機種以上に対応)の事業進化形として展開する統合型 SDK。

SDK(Software Development Kit):アプリに組み込んで機能を即座に追加できるソフトウェア部品。

*4 出典:MMDLabo 株式会社(MMD 研究所)『2024 年シニアのスマートフォンのセキュリティに関する調査』(2025 年 1 月)(https://mmdlabo.jp/investigation/detail_2400.html)

*5 「TONE-IN SDK」では、分散 ID (DID/VC) 技術により、フリービットは利用者の個人情報を送信・収集する仕組みを有さず、利用者の個人情報を取得・保存しません。

*6 出典:NTT ドコモ モバイル社会研究所『スマホ比率 60 代 94%、70 代 84%、80 代前半 68%』(2025 年 8 月)(<https://www.moba-ken.jp/project/seniors/seniors20250828.html>)

※ 本リリースに記載の他社名、製品名、サービス名等は、各社の商標または登録商標です。

フリービット株式会社

〒150-0044 東京都渋谷区円山町 3 番 6 号 E・スペースタワー

Voice 03-5459-0522 FAX 03-5459-0523 <https://freebit.com/>

Press Release

Appendix：フリービットの27年の技術蓄積とPortfoliaの構成

「TONE-IN SDK」を支える独自技術群は、フリービット(2000年設立、技術系譜は1997年Dream Desktopにまで遡る)が27年間にわたり開発・特許化してきた基盤技術の集大成です。2025年7月に発表した分散ID基盤「Portfolia」は、これら基盤技術を統合した非中央集権型プラットフォームであり、本SDKはそのAge Tech領域への応用形態となります。

Portfoliaを構成する基礎技術

■ Emotion Link (2004年発表)：

freebit独自のSDN(Software Defined Network)技術。

■ Emotion Link Active Node (2007年発表、2008年特許取得)：

アプリケーション自体がTCP/IPスタックを内包し、完全にEdge to Edge SDNを実現。

■ Trusta (2017年開発開始、2024年特許取得)：

モバイル端末上で安定的に動作するEVM1.X互換のL1ブロックチェーン。2024年3月7日においてノード数において世界第3位を記録(最大の時)。

■ DIDウォレット (Portfoliaの中核)：

W3C標準に準拠した分散型IDウォレット。個人データや認証情報を利用者のスマートフォン上に暗号技術を使って安全に保存し、自己主権型のID/DATA管理を実現。

詳細は2025年7月23日発表のプレスリリース「フリービット、20年以上にわたる技術革新の集大成として、web3時代の非中央集権型プラットフォーム『Portfolia(ポートフォリア)』を開発」(<https://freebit.com/press/pr2025/0723.html>)をご参照ください。